

1. 計画概要

明治 34 年、東宮成婚記念として奥武山が公園地として指定され「奥武山記念運動場」と名付けられた。奥武山運動公園は、昭和 31 年に運動公園として公園区域 27.04ha が都市決定され、その後公園区域の拡張など過去 8 度にわたる都市計画の変更を経て、平成 12 年 11 月には 29.8ha が公園区域となっている。奥武山弓道場は、昭和 48 年度に整備され、近的競技のみならず、遠的競技が行われる本県唯一の競技用弓道場として毎年多くの競技会が開催される施設であるが、老朽化が著しいための改築工事である。

2. 施設概要

所在地 : 那覇市奥武山町
工期 : 平成 23 年 8 月～平成 24 年 5 月
構造・階数 : 鉄筋コンクリート造 平屋建
敷地面積 : 4,866.97 m²
延べ面積 : 1,041.10 m²



正面外観

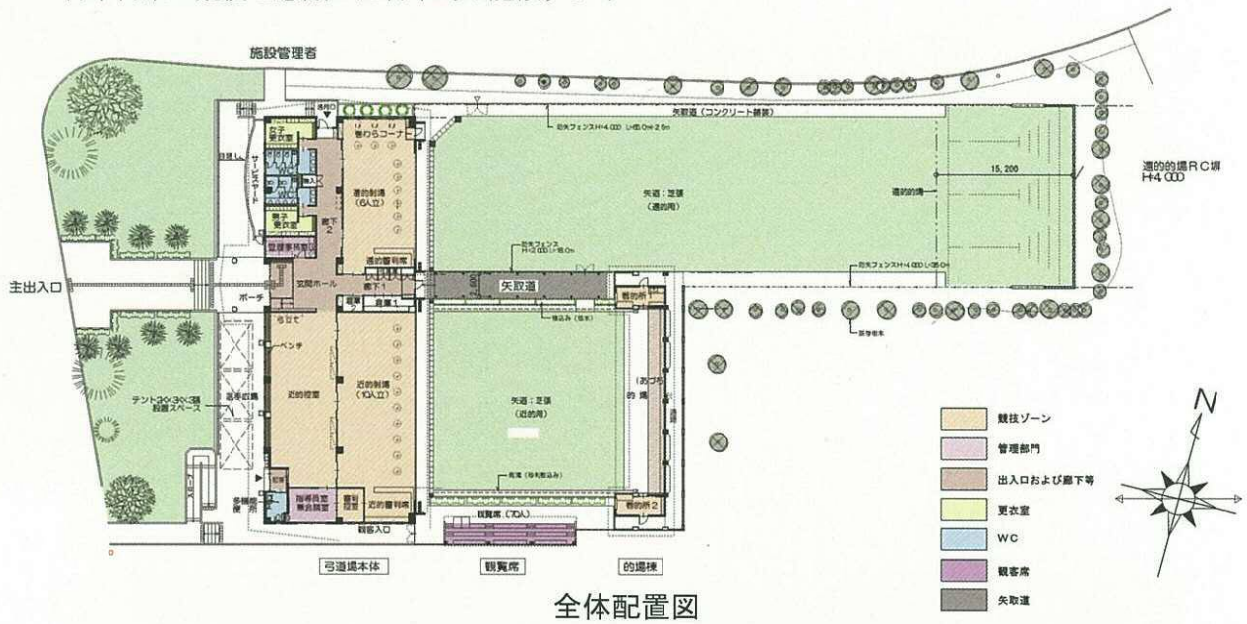


南西側外観

3. 設計方針

以下の6点をコンセプトに設計を進めている。

- ・弓道競技規定に適合し、全国大会の誘致・開催が可能な施設づくり
- ・施設として安全性が確保できる施設作り
- ・施設利用者にとって利用しやすい施設作り
- ・自然採光・通風を取り入れ省エネに配慮した施設作り
- ・既存の樹木、工作物等の有効活用、及び既存の公園景観を損なうことのない計画
- ・日本古来の競技を意識した日本的な施設デザイン



観覧席・的場



近的射場



観覧席・近的射場



近的控室

1. 事業概要

沖縄県森林資源研究センターは、昭和 25 年に創設されて以来、県内の森林・林業技術の開発・改善に取り組んでいたが、研究施設が狭小で施設も分散している上、施設の老朽化が著しく進行し危険な状況にあった。そのような状況を改善すべく、名護市の中心市街地にあった施設を、郊外の農業研究センター名護支所内への移転を行った。

2. 施設全体概要

所在地：名護市大仲
 工期：平成 24 年 2 月～平成 25 年 2 月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 2 階建等
 建物棟数：9 棟
 敷地面積：429,143.53 m²
 延べ面積：3,112.31 m²

3. 計画概要

配置計画では、分散していた既存施設の機能を 1 棟に集約することにより、効率的な施設運用を目指すことを目的に計画を行った。管理機能、執務、実験・研究機能は本館に集約することとし、実験・研究に必要な室については本館の 2 階に集約している。また、所長室、会議室の腰壁には県産木材を使用している。

建物名称	①本館	②農機具格納庫	③木材加工実験棟	④発生舎	⑤育苗施設 (ガラスハウス2棟)	⑥水中貯木槽	⑦菌床シイタケ発生 舎兼ほだ場	⑧昆虫 飼育棟	⑨育苗施設 (ネットハウス2棟)
延べ面積 (m ²)	1981.81	400.5	180	150	200	76.16	105.32	84	200
高さ(最高部)(m)	10	6.65	6.85	6.19	5.43	1.3	3.95	4	4.55
階数	2	1	1	1	1	—	1	1	1
構造	RC造	RC造	RC造	S造	S造	RC造	S造	S造	S造



沖縄県森林資源研究センター 配置図



本館北側外観



本館会議室



農機具格納庫北側外観



木材加工実験棟東側外観



発生舎北側外観



昆虫飼育棟南側外観



育苗施設(ガラスハウス)北側外観



育苗施設(ネットハウス)北側外観

Ⅲ. 主な完成物

1. 総務部

旧東京宿泊所若夏荘

施設概要

所在地：東京都新宿区信濃町
工期：平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月
構造・階数：鉄筋コンクリート造、地上 3 階、地下 1 階建
敷地面積：1,354.74 m²
延べ面積：1,371.027 m²

計画概要

昭和 55 年度に建設され、平成 21 年 3 月まで「沖縄県東京宿泊所若夏荘」(ホテル)として利用されていた本施設を、県職員宿舎(共同住宅)に用途変更することを目的として、改修して整備するための工事である。設置した 12 戸の職員住宅とともに、貸会議室を併設させストックの有効活用を図った。また、隣接する「沖縄県東京職員住宅うるま荘」との一体化を図り、共同利用可能な交流室を設置した。



外観



住宅内部



住宅内部

沖縄先端生命科学研究施設

施設概要

所在地：うるま市字州崎
工期：平成24年8月～平成25年3月
構造・階数：鉄骨造 平屋建
敷地面積：8,462.00 m²
延べ面積：2,976.72 m²

計画概要

本施設は、沖縄の地域に根付き世界に開かれた国際的な知的・産業クラスターを形成するため、国内外の研究機関・企業等の集積を図る施設整備を行うものである。施設は沖縄の地域資源を活用した健康・医療分野の研究開発を行い、その成果を魅力ある商品生産や付加価値の高い新たな産業創出へと繋げるため、遺伝子組み換え実験等の高度な研究開発を可能とする施設整備を行うことを目的に設計を行った。設計のコンセプトとしては、敷地周辺の環境に配慮し景観や町並みに貢献できる施設づくり及び高機能かつ多機能で変化に対応可能な弾力的な施設整備を行った。



南側外観



北側外観



研究室内部

沖縄 I T 津梁パークアジア I T 研修センター

施設概要

所在地：うるま市字州崎
 工期：平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月
 構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上 3 階建
 敷地面積：14,299.73 m²
 延べ面積：1,935.50 m²

計画概要

沖縄 I T 津梁パークアジア I T 研修センターは、沖縄 I T 津梁パークの人材育成機能の強化を図ることを目的に、OJT(オン・ザ・ジョブトレーニング：企業内教育)研修が実施できる環境を備えた施設である。研修センターにおいては、県内の高度な I T 技術者を育成、またアジア企業と共同で行う OJT 研修を通して、アジア諸国との架け橋となる高度 I T 人材の育成が行われる。



全体外観



エントランスホール



研修室

(1) 那覇商業高校管理棟

施設概要

所在地：那覇市松山地内
工期：平成24年3月～平成25年3月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 5階建
敷地面積：14,981.02 m²
延床面積：2,736.98 m²

計画概要

那覇商業高校は、普通教室棟や特別教室棟等5棟で構成され、今回の計画は管理棟の改築工事である。校舎棟改築時に策定された全体マスタープランに沿った形で計画がなされ、既存建物との取り合いはもちろんのこと、将来改築される予定の体育館の配置、動線計画まで見据えた設計内容としており、狭小な敷地の有効活用やグラウンド面積の確保を目的に全体の配置計画がなされている。意匠としては、校舎棟で使用している形や素材を用い、キャンパス全体に統一感のある設えとしている。



全体外観



アプローチ



正面玄関

Ⅲ. 主な完成物

4. 教育庁

(2) 宮古高校特別教室棟

施設概要

所在地：宮古島市平良字西里
工期：平成24年3月～平成25年1月
構造・階数：鉄筋コンクリート造地上3階建
敷地面積：19,677.00 m²
延床面積：1,282.00 m²

計画概要

当施設は平成20年度の宮古高校普通教室棟改築工事から引き続く工事で、解体撤去される家庭科棟、商業科実習教室棟の建替え施設である。前期に竣工した管理棟、普通教室棟同様に年次的な改築を見据えつつ、以下の条件を配慮し配置計画とした。

- ・各教室棟へのスムーズな動線の確保
- ・隣接棟へ渡り廊下を設置し接続棟へのバリアフリーに対応
- ・次期新設となる普通教室棟への接続の対応
- ・管理棟と軒を並べ前面道路からセットバックさせることによる近隣への景観の配慮

新校舎は生徒の学ぶ場としての利便性と学習意欲の向上にそって、更なる学校・地域の指導と支援の推進が図られることを施設整備の方針とした。



全体外観



家庭総合実習室



家庭経営室

Ⅲ. 主な完成物

5. 土木建築部（住宅課）

（1）県営須利原団地

施設概要

所在地：与那原町字与那原地内
工期：平成 22 年 9 月～平成 24 年 4 月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上 8 階建
敷地面積：4,516.64 m²
延べ面積：5,670.78 m²

計画概要

昭和 48 年度に建設された中層 5 階建ての県営須利原団地は、施設の老朽化による危険度の解消と居住水準の向上の為に建替工事を行い、RC 造 8 階建 70 戸の高層住宅が完成した。

設計のコンセプトとして、高齢者や障害者が生活しやすい住環境の整備（ユニバーサルデザイン）、耐久性・維持管理の行いやすさを考慮、住宅性能評価基準を満たす建物、人と車の動線の分離を図った安全性の確保、周辺の住環境を阻害しない団地形成（高さ、一棟の規模）、極力段差のない断面計画（バリアフリーデザイン）とした。



南側外観



東側外観



集会室

Ⅲ. 主な完成物

5. 土木建築部（住宅課）

(2) 県営豊見城団地

施設概要

所在地：豊見城市平良地内
工期：平成23年2月～平成24年7月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上9階建
敷地面積：6,152.26㎡
延べ面積：4,080.61㎡

計画概要

本敷地は南北に長い形状で、北側にかけて傾斜していく地盤である。この敷地に4戸連の住棟を2棟、くの字型に繋ぎ南北方向に沿って配置した。極力現地盤面を守り、大規模な造成工事が発生しないようにエリア分けを行い、駐車場の分散化を図ると共に南・西・北側からの建物へのアプローチを可能にした。Ⅱ期工事では団地全体の住民の利用する集会室を計画し、設置場所は3階南側とし中央広場を挟んでⅠ期住棟からのアクセスを考慮した。

住戸タイプは2DK、2LDK、3LDKの3タイプとし、各タイプとも段差をなくし入居者の高齢化に対応した。また、外部廊下に面する壁面は凹凸の少ない計画とし無駄な空間を排するよう努めた。住戸内においても間仕切りは最小限として入居者の生活様式に対応する計画となっている。



(建替前)



(外観パース)



北西より(外観)



北西より(外観)

(3) 浦添大公園トイレ

施設概要

所在地：浦添市字当山
 工期：平成 24 年 9 月～平成 25 年 3 月
 構造・階数：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建
 敷地面積：960 m²
 延べ面積：63.04 m²

計画概要

浦添大公園整備のテーマである「歴史、自然と共生する文化創造の公園」を意識し、セキュリティに配慮し、安心して利用できる施設を目指した。

外壁をアルミのスクリーンで囲み、開放性とプライバシーを両立させるとともに、壁の存在をなくす事で、瓦屋根を強調するデザインとした。



外観



女子トイレ



男子トイレ



多目的ブース



通路



外観2